



2026年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンディスプレイ
代表者名 代表執行役社長 CEO 明間 純
(コード番号 6740 東証プライム)
問合せ先 執行役員 CFO 平林 健
(TEL. 03-6732-8100)

営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失の計上のお知らせ

2026年3月期第3四半期（以下「当第3四半期」といいます。）会計期間において、営業外収益（為替差益及び原材料売却益）、営業外費用（支払利息）、特別利益（その他特別利益）並びに特別損失（減損損失、投資有価証券評価損及び事業構造改善費用）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 営業外収益の計上

為替相場の変動により、当第3四半期会計期間の連結決算において、為替差益 675 百万円を営業外収益に計上いたしました。一方、当第3四半期累計期間の連結決算では、中間会計期間に計上した為替差損の影響により、155 百万円の為替差損となりました。本為替差損益は、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済及び期末為替レートによる換算替えにより発生したものです。

また、当社茂原工場の生産終了により不要となった原材料を処分したことに伴い、当第3四半期会計期間の連結決算及び個別決算において原材料売却益 124 百万円を営業外収益に計上いたしました。これにより、当第3四半期累計期間の連結決算及び個別決算における原材料売却益は 370 百万円となりました。

2. 営業外費用の計上

短期借入金等の利息として、当第3四半期会計期間の連結決算において、2,403 百万円の支払利息を営業外費用に計上いたしました。これにより、当第3四半期累計期間の連結決算における支払利息は 6,322 百万円となりました。

3. 特別利益の計上

当社顧客向け特定製品における同顧客負担の初期投資に係る当社預り金に関して、同製品の量産計画の変更に伴う協議の結果として残額を一時に取崩したことにより、当第3四半期会計期間の連結決算及び個別決算において 1,708 百万円のその他特別利益を特別利益に計上いたしました。

4. 特別損失の計上

ディスプレイ事業の資産の一部について、当面の収益性を評価した結果、当第3四半期会計期間の連結決算において 204 百万円、個別決算において 158 百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。これにより、当第3四半期累計期間の減損損失は、連結決算において 744 百万円、個別決算において 642 百万円となりました。

当社が保有する投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落した株式について、帳簿価額の見直しを行い、当第3四半期会計期間の連結決算及び個別決算において、15百万円の投資有価証券評価損を計上いたしました。

当社茂原工場の生産終了に伴う費用等について、見積を精緻化したところ、当初水準から減額を見込んだことにより、当第3四半期会計期間の連結決算において1,417百万円、個別決算において1,557百万円の事業構造改善費用における戻入として、特別損失を減算し計上いたしました。これにより、当第3四半期累計期間の事業構造改善費用は、連結決算において11,275百万円、個別決算において11,018百万円となりました。

5. 業績に与える影響

上記の内容につきましては、本日公表の「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以 上